

## 第一章 仕事を好きになれ 懸命に生きろ

- 01 「天職」は、自らつくり出せ 16
- 02 「言われてやるだけの仕事」を「考えてやる仕事」に 18
- 03 不運を忘れるほど仕事に夢中になれ 20
- 04 今日1日の頑張りが未来を切り開く 22
- 05 最初から全力で走り出せ 24
- 06 「経験」が加わってこそ「成果」が生まれる 26
- 07 周りが認めてこそ「本当の努力」である 28
- 08 ミスゼロを目指し、常に「完璧」を期せ 30
- 09 順境なら「よし」、逆境なら「なおよし」 32
- 10 がむしゃらに頑張れば神様は助けてくれる 34
- 11 日々の積み重ねこそが人を高みへと至らしめる 36

- 12 「継続する力」こそ成功に必要な「真の能力」なり 38
- 13 製品が語りかけてくるまで耳を傾ける 40
- 14 誰にも負けないくらい働こう 42

## 第二章 人生は考え方次第で 大きく変わる

- 15 考え方を変えれば人生は180度変わる 46
- 16 ささやかな成功でも、自分をほめてあげよう 48
- 17 自ら熱く燃える人になれ 50
- 18 無理難題はあえて引き受ける 52
- 19 不況こそ成長のチャンス 54
- 20 反省は必要だが、思い悩む必要はない 56
- 21 物事は善意で取り組んでこそうまくいく 58

- 22 選択の基準となる「原理原則」を持って 60  
 23 「失敗する場所」があつて人は育つ 62  
 24 商売は「手腕」が9割 64  
 25 情熱は「自分は正しい」という確信から生まれる 66  
 26 才能を私物化するな 68  
 27 動機が正しければ絶対に負けない 70

## 第二章 人格を磨き続ける

- 28 一日に一度は自らの言動を反省せよ 74  
 29 才覚のある人ほど「ふさわしい人格」を磨け 76  
 30 知識を見識に、見識を胆識に 78  
 31 富は「社会からの預かり物」である 80  
 32 「人間として恥ずべきところはないか」と問い続ける 82

- 33 哲学や人生観を持って仕事に打ち込め 84

## 第四章 諦めるな、人はどこまででも行ける

- 34 「伸びしろ」を信じて挑戦せよ 88  
 35 「樂觀」と「悲觀」を使い分けろ 90  
 36 真の成功は「もう無理だ」の先にある 92  
 37 目標は「やり切って」こそ意味がある 94  
 38 無理なほどの目標を掲げろ 96  
 39 目標を立てたら思い切つて口にしなう 98  
 40 「不言実行」より「有言実行」であれ 100  
 41 「努力」とはよく考えることだ 102  
 42 夢を描いたら「見える」まで考え抜け 104



## 第七章 経営者の心得② 経営はかくあるべし

- 64 虚栄心に打ち克ち「筋肉質の経営」を目指せ 154
- 65 売上を最大に、経費を最小に 156
- 66 日頃から「余裕のある経営」を 158
- 67 不況だからこそ新しい挑戦をせよ 160
- 68 経営はガラス張りにせよ 162
- 69 「お得なまとめ買い」に惑わされるな 164
- 70 常識を疑い、常識破りの成長を目指せ 166
- 71 「最高」ではなく「完璧」を目指せ 168
- 72 企業には、損をしても守るべき「哲学」が必要だ 170
- 73 税金は社会貢献と割り切って考えろ 172
- 74 利益は「つくり方」で決まる 174

- 75 「値決めは経営」である 176
- 76 売れない在庫は「資産」ではなく「罪庫」である 178
- 77 正しく儲けて、利他のために使え 180
- 78 理念は愚直に守り続けろ 182
- 79 「人間として正しいこと」を貫き通せ 184
- 80 「燃える闘魂」と「高邁な精神」を持って 186